

## 令和6年度 第4回草津市行政経営改革推進委員会 会議録

■日時：

令和7年2月25日（火） 午前10時00分～11時50分

■場所：

市役所2階 特大会議室

■出席委員：

黒川委員長、南島副委員長、中委員、井上委員、山本清治委員、伊藤委員、中西委員、  
山本善美委員、木村委員

■欠席委員：

松本委員

■事務局：

北相模総合政策部理事、経営戦略課 岸課長、田中係長、佐藤主査、米田主任

■傍聴者：

なし

### 開会

---

#### 1 あいさつ

---

【北相模総合政策部理事】

本日ここに、令和6年度第4回草津市行政経営改革推進委員会の開催に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、御多用のところ御出席を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年度も、各種行政経営改革に係る多くの取組を御審議いただきましたが、今回が、このメンバーでの最後の委員会となることを予定しております。これまで、様々な視点から貴重な御意見を賜りましたことに、重ねて厚くお礼申し上げます。

本日は、今年度に策定を進めてまいりました「第2期草津市行政経営改革プラン」の策定に関するパブリックコメントの実施結果、また、「DXの推進」等について、順次、事務局より御説明させていただきます。

限られた時間ではございますが、委員の皆様方には、忌憚のない御意見を頂戴できればと存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが、冒頭の御挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

## 2. 報告

---

### (1) 第2期草津市行政経営改革プラン（案）の策定について

---

＜資料1～3に基づき説明＞

#### 【中委員】

パブリックコメントの結果について、公表する内容と範囲は。広報紙に掲載するのか。

#### 【事務局】

資料1～3の内容を、市ホームページや一部の公共施設において公表します。広報紙については、掲載しますものの、紙面の都合上、市のホームページへ案内するような内容としております。

#### 【井上委員】

パブリックコメントについて、計画案の閲覧数も意見数も少ないと感じる。アンケート形式など、別の手法を採用すればもう少し意見も集まったのではないかと。

#### 【事務局】

市が策定する各種計画については、一定のルールに基づき、お示しさせていただいたような形式でパブリックコメントを実施することとしております。第1期計画の策定時には意見がありませんでしたが、今回、多様な手法により周知を図ったところ、御意見をいただいたことをありがたく感じておりますし、いただいた御意見を参考に取り組を進めたいと考えております。

#### 【黒川委員長】

アンケートとは異なり、パブリックコメントでは計画案を読み込まなければならないため、自ずと件数は減ってしまうことが想定される。難しい部分もあるが、パブリックコメントの結果も踏まえ、取り組を進めるとともに、原案に基づき策定手続を進められたい。

### (2) DXの推進について

---

＜資料4～6に基づき説明＞

#### 【南島副委員長】

市ホームページのDXの推進に関するページについては、簡素な内容となっている。説明があったように、イラストも用いて、充実した取組を推進していることを周知する必要があるのではないかと。

なお、周知に当たっては、市民にとって、分かりやすく、利便性の向上に寄与する情報提供となるよう工夫されたい。例えば、「（仮称）草津市DX推進計画」の体系・方針に沿って、ホームページ上の構成を設計されると分かりやすいのではないか。

**【事務局】**

いただきました御意見を参考に、ホームページの掲載を検討させていただきます。

**【井上委員】**

（仮称）草津市DX推進計画における「本市の抱える課題」について、「技術的難易度は必ずしも高くない」という記載があるが、どのように捉えれば良いのか。

**【事務局】**

取組の推進に当たり、各課に調査・ヒアリングを行った結果、日々、新たなデジタル技術が開発される中、技術的には実現可能な取組であっても、予算の確保や各種関連する計画との整合性等、実現の過程において課題があると認識しておりますことから、このような表現とさせていただいたところです。

**【伊藤委員】**

基幹系システムの標準化に関する予算について、国の補助および市の負担はどの程度生じるのか。また、基幹系システムの標準化によりどのような効果が期待されるのか。

**【事務局】**

標準化に係る初期導入費は、費用の全額について、国からの支援があります。その後の運用については、市の負担となります。標準化により、システム改修費の縮減や、自治体間での情報共有の効率化等が期待できると考えおります。

**【山本善美委員】**

公共施設予約システムの導入については、大変喜ばしいことである。誰もが使いやすく、わかりやすいシステムとなるよう取組を進められたい。

**【木村委員】**

同じく、公共施設予約システムの導入に関して、まちづくりセンターにおいても、様々な方が施設を利用される。全ての方に使いやすい仕組みを検討されたい。

**【中西委員】**

DXについて、職員の意識が追い付いていないという話もあったが、職員の研修や、意識改革も必要であるとする。

【事務局】

職員のスキルアップに関しては、毎年、D Xに係る研修を行っているところです。

【山本清治委員】

今後も、スマホ講座は継続して開催されるのか。

【事務局】

現在、民間事業者と協力し、スマホ教室を開催しているところです。今後も、開催規模を調整させていただきながら、引き続き講座の開催を予定しております。

【黒川委員長】

デジタルに関する教育・普及については、デジタルデバイドの対策を含め、全世代に對して必要であると考えます。

また、D Xの推進に当たっては、市役所単位、あるいは地域単位で考えてしまうと、行き詰まってしまう、良いアイデアが浮かばないことも多い。

例えば、温泉街で有名な下呂市では、地域主体で様々なデジタルツールを活用し、観光で訪れた人も含め、誘客に関するプロモーションを行う仕組みづくりを展開している。広域連携、他市事例の研究等により、より良い取組を推進されたい。

### 3 その他

---

<各委員の皆様からの感想>

【中西委員】

行政経営改革に関する市の取組を知ることができ、勉強になった。一方で、市民からは見えづらい側面があるということを感じたため、さらなる情報発信に努められたい。

【山本清治委員】

同じく、行政経営改革に関する市の取組を知ることができ、勉強になった。まちづくり協議会を代表して参画したが、協議会の取組においても参考としたい。

【井上委員】

D Xの推進に当たり、プロンプト（生成A I への命令や質問）の話があったが、昨今は、プロンプトを作成する専門のコンサルタントへの委託業務も存在している時代となっており、組織の中において、デジタル技術に関する能力に差が生じつつあることが想定される。各施策の取組に当たっては、デジタル技術を使いこなすことができる人材が先導せざるを得ない場面も多くなると考えるが、組織の風土や職員の意識改革について

も進められたい。

**【中委員】**

少子高齢化など、日本が抱える課題について社会全体が認識し始めてきた中、本市では、以前からこのような課題を踏まえ、中長期的な視点をもって、行政経営改革に関する取組を進めてきたと感じている。今後も取組を継続されたい。

**【伊藤委員】**

行政経営改革に関する取組について、委員就任当初は難しいと感じたが、徐々に理解が深まってきたと感じている。計画案に対するパブリックコメントの件数が少ないことについては、委員会においても指摘があったところであるが、同じように、市民も、取組の難しさや分かりにくさを感じているのではないかと考える。

**【山本善美委員】**

伊藤委員と同じように、委員就任当初は取組内容を理解するのが難しかった。行政経営改革に関する多くの取組については、市民に知られていないのが現状であると考ええる。

**【木村委員】**

「縦割り行政」という言葉もあるが、DXなどの行政経営改革に関する取組については、横の連携を強めることが重要であると考ええる。関係する所属とともに推進されたい。

**【南島副委員長】**

公共施設の予約システムについては、施設ごとに異なるシステムを利用するのではなく、統一することで市民の利便性の向上が図られるのではないかと考える。

また、本日の委員会において、市の取組が見えにくい部分があるという意見があったところである。「協働のまちづくり」の推進に当たっては、市民が市の取組を知り、互いの役割が明確になることで初めて協働が生まれると考える。行政経営改革の取組に関する市民への情報発信に力を入れて取り組まれたい。

**【黒川委員長】**

行政経営改革については、専門用語が多岐に渡り、相当勉強しないとわからない内容も多々ある。各委員におかれては、これまで、勉強の上、議論されてきたことに感謝したい。

また、情報発信の話もあったが、市が取り組んでいることは、学生にもあまり知られておらず、就職活動でも公務員は人気がないように感じている。

その一方で、公務員試験に合格し、自治体で働き、充実した日々を送っている卒業生もおり、学生に公務員の魅力を話す際は、当委員会の取組を紹介できる機会をもらえた

と思っている。この委員会は、大学関係者だけでなく、専門的な知見を持つ方、まちづくり協議会、商工会議所等、様々な立場の方が参画し、非常に貴重な機会であると考えている。

市が決めることとなるが、引き続き委員として従事される場合は、お願いしたい。

## 閉会

---

### 【岸経営戦略課長】

本日は様々な方面から、活発な議論をいただきありがとうございました。

委員の皆様方には大変お世話になりました。皆様からいただきました御意見・御指摘等を踏まえ、引き続き「第2期草津市行政経営改革プラン」に基づく様々な改革に取り組んでまいりたいと考えております。

本日はありがとうございました。